

東北のかなめ

vol.48 (2020.1)



仙台市青葉区の国宝大崎八幡宮拝殿(1607年竣工)

【CONTENTS】

- ✓ 米軍再編に係る岩国飛行場から三沢基地への訓練移転
- ✓ 台風19号による防衛関連企業の被災状況
- ✓ 防衛ミニセミナー～宮城県多賀城高等学校～
- ✓ トピックス
 - ・ 在日米軍従業員永年勤続者表彰式
 - ・ 防衛大臣・東北防衛局長 感謝状伝達式
 - ・ 大湊消防署庁舎落成記念式典
- ✓ 防衛関連企業シリーズ①：日本工機(株)白河製造所
- ✓ 「ようこそわが街へ」～山形県朝日町～
- ✓ インフォメーション

米軍再編に係る岩国飛行場から三沢基地への訓練移転

10月10日から11月4日までの間、米軍再編に係る岩国飛行場から三沢基地への訓練移転（日米共同訓練）が実施されました。三沢基地における訓練移転は、今回で10回目となります。

米軍再編に係る訓練移転とは、日米間の相互運用性を向上させるとともに、在日米軍飛行場の周辺地域における訓練活動の影響を軽減することを目的として、平成18年5月、日米安全保障協議委員会（いわゆる「2+2」）において取りまとめられた「再編実施のための日米のロードマップ」（注1）に基づき、平成19年3月以降、在日米軍の3飛行場（注2）の航空機が航空自衛隊の6基地（注3）において訓練移転を実施しています。

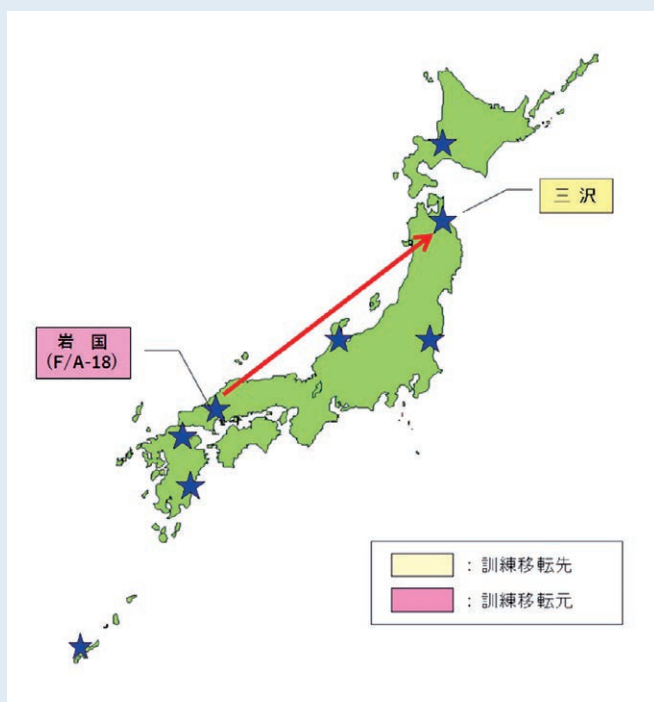
（注1）再編実施のための日米のロードマップ（平成18年5月1日）

「当分の間、嘉手納飛行場、三沢飛行場及び岩国飛行場の3つの米軍施設からの航空機が千歳、三沢、百里、小松、築城及び新田原の自衛隊施設から行われる移転訓練に参加する。双方は、将来の共同訓練・演習のための自衛隊施設の使用拡大に向けて取り組む。」

（注2）三沢飛行場（青森県）、岩国飛行場（山口県）、嘉手納飛行場（沖縄県）

（注3）千歳基地（北海道）、三沢基地（青森県）、百里基地（茨城県）、小松基地（石川県）、築城基地（福岡県）、新田原基地（宮崎県）

平成23年1月、航空機訓練移転の拡充のため、移転先として新たにグアム島が追加、さらに平成26年3月には、三沢対地射爆撃場を使用した空対地射爆撃訓練を追加することについて日米合同委員会で合意されました。



東北防衛局では、米軍の支援に加え、周辺住民の方の安心、安全を図るため、三沢防衛事務所に現地連絡本部を設置し、関係機関等との連絡調整、騒音測定を行うなど、訓練の円滑な実施と周辺住民の方の不安解消に努めたところです。

台風19号による防衛関連企業の被災状況

10月12日、台風19号が日本に上陸し、東北地方、関東地方及び甲信地方における記録的な大雨により、被害は甚大なものとなりました。自衛官の制服を含む各種制服等を製造している東和株式会社(福島県本宮市)では、1階の天井付近まで水没し、CADや製品、生地等に大きな損害を受けました。



水没時の様子



被災した社内



被災状況の確認を行う熊谷局長



社長による被災状況の説明

10月29日、熊谷昌司東北防衛局長は、被災した東和(株)を訪問し、被災状況を確認しました。郡山防衛事務所は、防衛装備庁に対し、被害の状況を報告するとともに、納期などの調整を実施。東和(株)は、設備等の復旧に鋭意努力し、1ヶ月後の11月には一部業務を再開しました。

防衛ミニセミナー(宮城県多賀城高等学校)

9月5日、宮城県多賀城高等学校において、防衛補佐官佐藤孝洋1等陸佐による「防衛ミニセミナー」が開催されました。東北防衛局では、防衛政策や自衛隊の活動等について、国民の皆様にも広く理解していただけるよう、東北各地で防衛セミナーを実施しております。今回は防衛セミナーの規模を小さくし、意見交換の場を設けることで、より防衛政策等への理解や親しみを持っていただけるよう、「自衛隊の災害派遣」についてミニセミナーを実施しました。



災害派遣の説明をする佐藤1等陸佐



熱心に聞き入る生徒たち

同校では、学校全体として防災減災活動に取り組んでおり、防災及び災害を学習する専門学科「災害科学科」3年生の生徒約30名は、自衛隊の災害派遣の講義に熱心に耳を傾けました。

令和元年度在日米軍従業員永年勤続者表彰式

10月25日、三沢基地内の統合クラブにおいて、青森県内に所在する在日米軍施設（三沢飛行場、八戸貯油施設、車力通信所）に永きにわたり勤務した駐留軍等労働者の功績をたたえる「令和元年度在日米軍従業員永年勤続者表彰式」が開催され、小檜山吉紀三沢市長ら来賓をはじめ、多数の関係者が出席しました。

はじめに、主催者である熊谷昌司東北防衛局長とハモンド米空軍第35戦闘航空団副司令官の式辞に続き、熊谷局長、ハモンド副司令官及びパミル米海軍三沢航空基地隊司令から、勤続30年、20年及び10年の節目を迎えた永年勤続者計94名に表彰状及び記念品が授与されました。式典終了後、被表彰者を囲んで懇親会が行われ、和やかな雰囲気の中でひと時を過ごされました。



代表者への表彰状及び記念品授与



来賓祝辞を述べる小檜山三沢市長

令和元年度東北防衛局長感謝状贈呈

11月12日、14日、28日及び12月4日、令和元年度東北防衛局長感謝状の贈呈を行いました。

【早坂利悦色麻町長】（11月12日）



【玉井恒東北コミュニティ放送協議会会長】（11月14日）



【萩原達雄大衡村長】（11月28日）



【山本剛志三沢市政策部長】（12月4日）



常日頃の防衛施設の安定的運用へのご協力に感謝いたします。

令和元年度防衛大臣感謝状伝達(青森県八戸市議会議員)

台風19号の接近により、東京市ヶ谷における防衛大臣感謝状贈呈式に参加できなかった坂本美洋八戸市議に対し、11月15日、東北防衛局にて熊谷昌司東北防衛局長より防衛大臣感謝状が伝達されました。



防衛大臣感謝状は、自衛隊に協力または自衛隊を援助して、その功労が著しいと認められる方に対し贈呈されます。坂本市議は、青森県八戸市議会議員として、周辺諸問題の解決に尽力されるとともに、八戸飛行場をはじめとする自衛隊施設の運用に対する地域住民の理解促進等に多大な貢献をされ、令和元年度防衛大臣感謝状を受賞されました。

大湊消防署庁舎落成記念式典

12月15日、青森県むつ市において、大湊地区や川内、脇野沢両地区の新たな防災拠点として建設を進めてきた大湊消防署庁舎落成記念式典が執り行われました。式典には、宮下宗一郎むつ市長をはじめ、地元関係者約160名が参加し、東北防衛局からは熊谷昌司局長、古川和久三沢事務所長、鈴木雅之周辺環境整備課長が参列しました。

昭和47年1月に建設された大湊消防署は、老朽化が進み、また、必要な耐震性能を満たしておらず地震等による倒壊の危険性が指摘されていたことから、「防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律」第8条に基づく民生安定施設整備事業補助金を活用して整備されました。



新庁舎は、陸奥湾を見渡せる高台に位置し、国道338号大湊バイパス沿いにあることから災害現場への機動性の向上が図られ、また、既存庁舎に比べ敷地面積も広く、救助訓練施設も整っており、さらなる消防体制の強化及び防災拠点として地域の消防や救命活動に寄与するものと期待されています。

防衛関連企業シリーズ①：日本工機(株)白河製造所

～小惑星探査機「はやぶさ2」プロジェクトに参画～

昭和8年、昭和火薬工業所として誕生した爆薬メーカーの日本工機(株)は、生産の拠点となる白河製造所(福島県西白河郡西郷村)において、防衛省・海上保安庁が使用する防衛用装備品のほか、産業用火薬類、防犯・防災製品、聖火トーチなどを製造しています。その技術は、小惑星探査機「はやぶさ2」衝突装置の開発に応用されました。

平成26年12月に打上げられた「はやぶさ2」は、小惑星の表面だけでなく、内部の石や砂を採取するための「衝突装置」が搭載され、そのサンプルを調査することにより、太陽系の成り立ち、生命誕生のシナリオを探るという史上初のプロジェクト。日本工機(株)が開発・製造した「衝突装置/爆薬系」は、約5kgの爆薬による爆発の圧力で球状に変化した銅板が秒速2kmの高速で小惑星に衝突、人工クレーターを形成することに成功しました。その後、クレーターにタッチダウンした「はやぶさ2」は、小惑星内部やクレーター周囲のサンプルを採取し、今年末には地球に帰還する予定です。この世界初のチャレンジに参画した日本工機(株)開発第一グループ・チーフの松崎伸一氏にお話を伺いました。

Q1：「はやぶさ2 衝突装置/爆薬系」の開発・製造に携わることになった経緯について教えてください。

A1：JAXA(宇宙航空研究開発機構)が「はやぶさ2」の開発にあたり、衝突装置/爆薬系の技術公募を行っていることを知り、技術提案書を応募したところ、採用されました。開発期間は3年と短い上に、開発に着手して間もない平成23年3月に東日本大震災で被災、その後約2か月間、停止状態となりました。宇宙開発に携わった経験もなく、苦労の連続でした。



Q2：衝突装置/爆薬系の開発・製造の過程で苦労した点を具体的に教えてください。

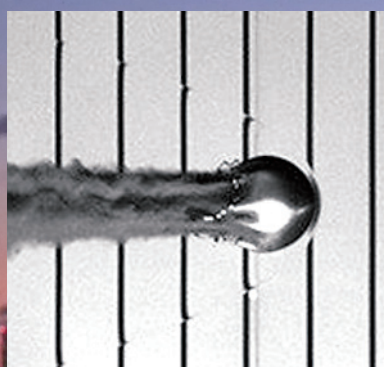
A2：当初、爆薬系の形状は円柱形を考えていましたが、重量が30kgにもなってしまいます。重量制限が厳しく、形状を円錐型にして10kg(うち爆薬5kg)まで軽量化しましたが、これはギリギリの重量でした。また、宇宙環境での耐久性を確認するため、JAXAの指導の下、実験を行ったところ、真空状態では火薬成分の一部が気体になって飛んでしまうことが判明しました。爆薬系のケースと銅板をネジで留める設計から、溶接に変更しましたが、異なる物質の溶接は、かなりの技術を要するものでした。この溶接も福島県の業者によるものです。

Q3：宇宙プロジェクトに挑戦してみたい子供たちへメッセージをお願いします。

A3：宇宙についての知識もなかったのが、たくさんの失敗を経験しました。でも、その過程で、日々学び、どうしたら解決できるのか真剣に考えることにより、失敗を恐れず挑戦することの素晴らしさを体験することができました。平成31年4月5日、人工クレーター形成に成功した時のJAXAオペレーション会場に同席することができ、スタッフの喜ぶ姿を目の当たりにして大変感動したのを覚えています。是非挑戦してみてください！



衝突装置/爆薬系



爆圧により銅板が球状に変化して飛翔



衝突装置が作動し人工クレーターを形成

りんごとワインと空気神社の里 山形県朝日町

朝日町は、山形県の中央部に位置し、磐梯朝日国立公園の主峰「大朝日岳」の東縁山麓地域にあります。日本三大急流といわれる「最上川」が町域の南北を約21kmにわたって蛇行北流し、国立公園をはじめとする原生林野が町土の76%ほどを占める、豊かな自然環境と澄みきった空気に包まれた人口約6700人のまちです。



袋をかけずに栽培する「無袋栽培」の技術を全国に先駆けて確立し、市場でも高い評価を得たりんご「無袋ふじ」が町の特産品です。

今では、町独自で台湾やタイ、マレーシアへの輸出を行い、現地でも朝日町ブランドが確立されています。



世界で唯一「空気」をまつる「空気神社」。町民の一言をきっかけに、まちおこしの一環として町民有志によって建立されました。

ブナ林の中にある5m四方ステンレス板はまるで鏡のよう。周囲の四季を映しこむことで見えない空気を表現しています。



「朝日町ワイン」は、マスカットベリーA種を主原料とした赤ワインが人気の逸品。日本ワインコンクール赤部門では、全国最多4度の金賞をはじめ、「金賞・部門最高賞・コストパフォーマンス賞」の3冠を受賞するなど、国内トップのワイナリーとして注目されています。

先人たちが築いてきた「時代の変化に立ち向かい、あきらめず、夢と希望を持ち、未来に向かってチャレンジをし続けてきた姿」こそ、まさに朝日町のDNA。これからも「朝日町ファン」とのつながりを増やしていくため、さらなるチャレンジを続けていきます。

在日米軍従業員募集

日本の「アメリカ」で
働きませんか! 「エルモ」が応援!
あなたの就活!



独立行政法人駐留軍等労働者労務管理機構【エルモ】では、在日米軍基地で勤務する従業員の募集を行っています。

興味のある方は、エルモホームページをご覧ください。下記の支部にお問い合わせください。

<http://WWW.lmo.go.jp>

【窓口応募受付・お問い合わせ先】

エルモ三沢支部管理課管理係

住所：青森県三沢市平畑1-1-25

電話：0176-53-4165

担当施設：三沢飛行場、八戸貯油施設、車力通信所

LMO 検索

求人情報
(スマートフォン)



東北の主な自衛隊広報行事

【令和2年3月まで】

事前申込み等が必要なイベントもありますので、お問い合わせください。

開催日	イベント名	開催場所	問い合わせ先
2月8日(土)	第15回第6師団音楽まつり	天童市市民文化会館 (山形県天童市)	陸：第6師団司令部広報室 0237-48-1151(5374)
2月8日(土)	第41回北部航空音楽隊定期演奏会	リンクステーションホール青森 大ホール(青森県青森市)	空：北部航空音楽隊広報係 0176-53-4121(4823)
2月9日(日)	第42回大湊音楽隊定期演奏会	盛岡市市民文化ホール (岩手県盛岡市)	海：大湊地方總監部広報係 0175-24-1111(2304)
2月14日(金) 15日(土)	第56回東北方面隊定期演奏会	仙台市泉区イズミティ21	陸：東北方面總監部広報班 022-231-1111(2373,2374)
3月6日(金)	第36回自衛隊郡山音楽祭	郡山駐屯地(福島県郡山市)	陸：郡山駐屯地広報班 024-951-0225(283,284)

